

中国 アジア グローバルビジネス

環境総量規制 華東地域の 実態調査

ジェットロ、全体像把握へ



環境汚染物質削減計画で地方や工業
園区ごとに排出総量を設定している
(蘇州市内の工業園区)

【上海】吉水 日本貿易振興機構(ジェトロ)は、上海市をはじめとした華東地区の工業園区(工業団地)で進捗環境総量規制の実態調査に乗り出した。ジェトロ上海事務所が担当する。

「個別対面調査を実施する。総量規制を理由に投資案件が差し止めとなる事例が目立つなか、各地の状況をまとめて全体像を明らかにする。」

今年を起算とする第13回5カ年計画(13・5)で中国政府は環境に関わる数値目標を設定し、各地方もこれに従い対策を進めている。その一環として環境汚染物質の削減計画を打ち出すことも出水量を設定。大気や水、

土壌を汚す物の排出量を減らす取り組みを強化している。このため、上海や江蘇省などは排出枠を超えない事例が急増している。日系企業も例外ではない事例が急増している。

が、あるという。ただ、華東全域の現状をまとめたデータや情報がなかったこともあり、地区ごとの差などの把握を狙い調査を行う。

局からの指示など、5つの大項目にアンケートを構成。ジェトロが配信するメールマガジンのほか、上海日本商工クラブの水1人へ1日(日)からの質問票がダウンロードできる。企業の規模や業種を問わず、幅広い範囲から情報収集を試みる。アンケートに加えて、園区や進出日系企業に対する聞き取りも計画。化学を営む各社へのヒアリングに着手していく。併せて、問題しつづつある危険化学品の規制動向や土地招徠来時の更新手続きも調査項目に盛り込んだ。

結果は10月をめどにまとめて公表する見通し。報告書のほかセミナーの開催によって周知する。

「ジェトロ上海事務所が調査に乗りかかるとなった背景には、中国の一部地方で成長よりも環境を重視する段階に差しかけたことがある。かねて環境を重んじる指示は中央政府から出ているが、地方にも浸透しきった格好。そうした流れを踏まえ、各地の意識の差を浮き彫りにするこの調査は意義深く、やり玉に

経済情報担当者は「まだ断片的な情報しかない状況だったという。今回の調査を通じて、華東地域の実際の取扱いを示すことができれば」と協力をお願いしている。

「ジェトロ上海事務所が調査に乗りかかるとなった背景には、中国の一部地方で成長よりも環境を重視する段階に差しかけたことがある。かねて環境を重んじる指示は中央政府から出ているが、地方にも浸透しきった格好。そうした流れを踏まえ、各地の意識の差を浮き彫りにするこの調査は意義深く、やり玉に

ジェトロ上海事務所の

方技 車載用LiBに参入
東工 中国パッケメーカー買収
広精

【上海】但田洋平「完全社会化した。北京普莱德新能源が持つ電池製のノウハウや自動車メーカーへのチャネル」と東方データの機械設備、LiB市場に参入する。LiBパックを製造販売する北京普莱德新能源電池科技(北京)の金株式1億5000万(約1億3000万)で買い取り、時代や正極材料の研究開発を手掛ける北大先

行科技産業や北汽福田汽車などから株式を買収する。現金で18・5億元を支払い、残りは株式を発行し出す。同時に第三者割当増資で29億元を調達し、LiBの研究開発や新規プロジェクトに充てる考え。北京普莱德新能源は電